

勿来ひと・まち 未来会議

ニュース・レター
No. 1

(平成 13 年 11 月 9 日発行)

編集・発行：会事務局

設立のあいさつ



会長 館 敬

勿来地区の特徴と言ったら何を思い浮かべますか。商工業、農林水産業も有り、海、山、川といった自然資源にも恵まれているのに、地域を印象付けるモノが見当たらないのは、僕だけでしょうか。この現象はいわき市においても言えることだと思います。もしかすると素晴らしいモノがあるのに、ここに住んでいるために当たり前のように感じ気が付かないのかも知れません。子供達が生まれ育った町に誇りを持ち、お年寄りが元気で生き甲斐を持てる心豊かな生活を

願う人達にとって、これから勿来地区はどのように変革して行けばいいのか、真剣に議論し楽しく行動することが、これからのまちづくりには必要であり、さらに市民と行政が、お互いの責任と立場を理解し合い進めることが大切であると考えます。

勿来ひと・まち未来会議はその実践を事業の一つとして活動しています。「来る勿れから勿来来たくなるマチ勿来」の実現を目指して、貴方も一緒にまちづくりに参加してみませんか。

設立の趣旨と会議の概要

勿来ひと・まち未来会議は、いわき市南部の核として勿来地区におけるより良いまちづくりを進めていくために平成 13 年 7 月 11 日に設立されました。

少々堅苦しいですが、会則では、その目的と事業を次のようにうたっています。

(目的)

未来会議は、地域住民の声を反映させながら、地域の人々が持つ歴史観とまちが持つ特性を活かし、将来に向けて夢の膨らむ豊かで住み易いまちづくりを目指して、市民と行政が一体となり、いわき勿来地区の活性化を推進することを目的とする。

(事業)

未来会議は、その目的を遂行するために次の事業を行う。

- (1) 地域まちづくり計画を策定し、それを実現すること。
- (2) 国及び地方公共団体との情報交換並びに連絡調整に努めること。
- (3) 地域内資産、資源、拠点等の利活用を促進すること。
- (4) 地域振興に係る基金の創設を目指すこと。
- (5) その他本会の目的達成のために必要とする事項に関すること。

平成 13 年 11 月 2 日現在、30名の会員が参加しており、会の運営はその中から選ばれた 14名の役員が行っています。

定期的な活動は毎週金曜日を基本として、役員会は第 1、第 3 金曜日に会事務所において、会員全員が参加する勉強会は第 2、4 金曜日に勿来支所 3 階会議室において行っています。

……… 会員募集中！ ………

この会の趣旨に賛同するあらゆる個人、団体、企業に参加資格があります。まだまだ、会員募集中ですから、ご関心のある方はどなたでも、是非お問合せください。

(お問合せ電話番号：77 - 1590)

年会費は次のとおりです。

- ・個人会員：3,000 円
- ・団体会員：5,000 円
- ・賛助会員：20,000 円(1口)

最近の活動のハイライト

スタートしたばかりですが、下にあるような年度計画に沿って、もう活発に活動を行っています。

9月下旬から10月初旬にかけては、勿来地区の課題と“宝”について、みんなで議論するワークショップ*を実施しました。

9月28日(金)午後7時~9時

「課題と“宝”の再発見ワークショップ その1(分野別編)」

10月12日(金)午後7時~9時30分

「課題と“宝”の再発見ワークショップ その2(地区別編)」

今後は、このワークショップで出された意見をみんなで実際に確認するため、11月の初めに“まち歩き”を行う予定です。

また、勿来の中の各地区に出かけていって、より多くの市民の皆さんの生の声を聞く機会も計画中です。

*ワークショップ:元来作業所の意味。参加者が何らかの作業の中で手を動かし、知恵を出し合いながらある成果を出していくもの。「参加型」の計画づくりのほか、「体験」を重視した学習などで広く用いられている。

下本さんのユーモアたっぷりの発表でみんな大ウケ!

「課題と“宝”の再発見ワークショップ」その1

それでは、9月28日に行ったワークショップの様様を簡単にご報告します。

第1回目は、3つの分野に分かれて参加者それぞれが日頃感じている課題と“宝”をフセンに書き出して整理しました。



生活分野

大きな地図を広げ、「地域の宝と問題点」と題して第1回目のワークショップを行いました。改めて感じましたのは勿来地区には市街地の周囲に川、海、山とすばらしい自然が多く残っており、気候も温暖で住みやすいということです。

問題点は、勿来の関の印象が薄い、文化的施設が少ない、街並みが統一されていないなど、宝より多く出されました。社会の授業を受けたようで楽しく学習してまーす。

(下本 栄子)



年度計画(工程)のイメージ図

来年3月までの会の活動の大まかな予定です。

平成13年						平成14年		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設立	進め方検討	地域の課題と「宝」の確認	地域の課題と「宝」の確認	課題克服のためのアイデア整理	まちづくりのテーマ検討	まちづくりのテーマ検討	分野別方針案の検討	方針案のとりまとめ

課題と宝の再発見ワークショップ!

まちを見てもみ隊(みんなでまち歩き)

まち普請会議(各地区からの生の声!)

まち普請会議(各地区からの生の声!)

4月発表!(を目標して...?)

自然分野

自然環境は豊かさを保っていると思われがちですが、よく目を凝らしてみると、あちこちでごみが目に付くようになってきました。特に、山間部の道路の舗装率と比例して不法投棄されたごみが増加傾向にあります。白砂青松の海岸線で知られた勿来海岸もごみが散乱している状態にあり、市民や観光客のモラルの向上がもとめられています。しかし、各種団体や企業・学校の努力で地域の中にはごみ一つないところもあります。余談ですが、無害の産業廃棄物「フライアッシュ」の再利用法の検討もすべき！という意見もありました。住環境は、気候が温暖で暮らしやすいという意見が大半を占めました。(緑川 貴之)



熱い議論の展開！（でもそんなに深刻ではありません）

基盤分野

今回の「K」法を活用した「課題と宝さがし」を基盤・産業について実施してみると「海」、「川」、「勿来の関」等の自然がもつポテンシャルがあるということとインフラ（道路、下水道等）の未整備また産業面においては既存商店街の空洞化の問題等が挙げられたが、ひとそれぞれの意見があり同じ課題においてもいろいろな角度からの考え方が発見できたことは有意義であり、また新鮮でもあった。

総合的に考えるとまだまだ「勿来」のもつポテンシャルが充分にあることが確認できたが、それらを有効に活用していないのではないかとと思われる。今後は時代の流れに合うまちづくりを勿来の特色を活かしながら進めていく事が重要ではないだろうか。(赤津 茂)



模造紙の上で意見を整理

会員紹介コーナー

このニュースレターを通じて、活動している会員の皆さんの素顔をご紹介します。
記念すべき第1号は、副会長の古川さんと事務局次長の森さんです。

古川 広子

皆様こんにちは。勿来ひと・まち未来会議会員の古川広子です。勿論来たくなるまち勿来を目指し、未来に向けて勿来地区がどの様に発展し、生きがいを持って生活するにはどうしたら良いのかを、行政の人達と協働作業でテーマを見つけて現実のものとするために、月2回金曜日、勿来支所で勉強会をしています。まちづくりに感心のある方、仲間に入りませんか。未来に向けて、若い人達の参加を心より望んでおります。



森 隆太

初めまして。私は植田町に住む森と申します。縁あってここ勿来地区にお世話になることになりました。まだ2年半ほどの私ですが、今では家の近くのみなとみらいインターについての時よりも勿来インターについての方がほっとする押しも押されぬ？勿来人です。本会の館会長より、異土から来た人の意見を言ってくれとの誘いに図々しくも乗ってしまい、今に至ります。とにかく、自然豊かで住みやすいこの町を良くすることに少しでもお手伝いが出来たら、と思い頑張っております。宜しくお願いいたします。



事務所を設置しました！

私たち勿来ひと・まち未来会議の事務所（事務局）は、佐糠町の旧国道に面した場所に置かれています。現在この事務所は、月に2回ほどの役員会を開催するのに使用されています。立ち上がったばかりの会なのでまだまだ事務局を運営するにあたり、十分な設備とはいえませんが、最低限の備品は会員みんなの協力で揃える事ができました。

今後も機能の充実を図り、勿来地区住民の皆様幅広く勿来ひと・まち未来会議の情報を発信していきたいと思しますので、よろしくお願いたします。

事務局長 遠藤 拓也

<事務所の外観>



WELCOME!!

フリーマーケットに参加しました！

クリエイティブなこそ会（小沢一之会長）主催による「2001 フリーマーケット in グランドサーカス」が10月21日、鮫川河川敷公園で賑やかに開催されました。

フリーマーケットは平成8年から毎年、植田町東田中央公園で春秋の2回ずつ実施されてきましたが、今回から勿来ひと・まち未来会議も共催として協力し実施したものです。

今回の会場は今までの東田中央公園から鮫川河川敷公園に移し開催されたもので、出店を希望する人たちが、様々な日常品を指定の場所に持ち寄って手際良く開店の準備をはじめ、それを待ちかねた大勢のお客さんがお目当ての品物を探す姿で終日賑わい、薄紅色のコスモスに彩られた鮫川河川敷公園でのフリーマーケットは大盛況でした。

勿来ひと・まち未来会議では、これに先立ちフリーマーケット委員会を組織し入念な準備を進め、当日は豚汁や山菜おこわ、生ビールとホットコーヒーを販売する模擬店を出店、また会員の協力によりバザー用品の販売も行い、秋空の下のがすがすがしい汗を流しました。（長谷川 修通）



・・・編集後記・・・

会の設立から少し時間が経ってしまいましたが、やっと未来会議のニュースレターNo.1を発行することができました。これからも会の活動報告に加え、会員のまちづくりに対する熱い思いや地域で行われているさまざまな活動の様をお伝えしていきたいと思です。

地域住民の皆さんのご意見・ご感想もお待ちしています。

右記連絡先にご連絡下さい。

勿来ひと・まち未来会議事務所

住所：いわき市佐糠町東 1-19-5

電話：77-1590

FAX：77-1591